

こしかわ好略 ニュース

巨大な物流倉庫が今年7月着工予定に

(高さ36.5メートル、マンション12階建て相当)

早川城山住宅にお住いのすべてのみなさんにお伝えします。

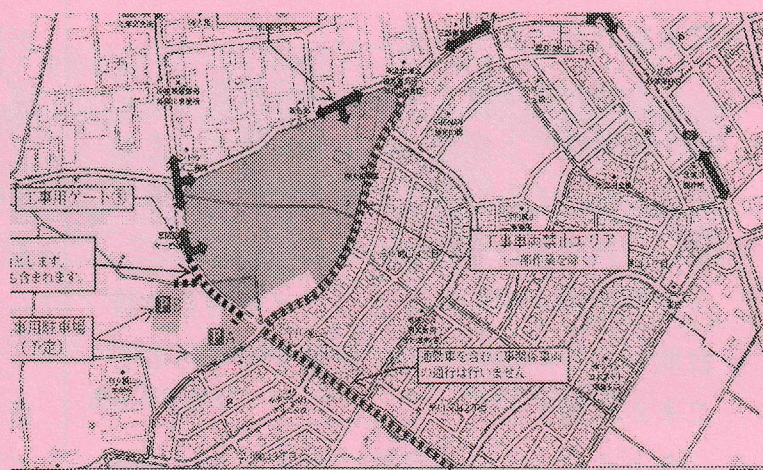
綾瀬市の計画にもとづいて現在、早川中央土地区画整理事業が進められています。

3月9日に、東急不動産による住民説明会が行われました。(近隣にお住まいの約50～60戸ほどにしか案内がされなかったようです)

そこで明らかになったのは、

高さ36.5メートル、延べ面積117,522平方メートル(35,612坪)の巨大な物流倉庫建設。(倉庫名「LOGI'Q 綾瀬(仮称)」

(参考)東急不動産のロジスティックス施設HP



説明会で配布された資料より

説明を受けた住民から憤りや落胆、不安、心配の声が上がっています。以下は、私が聞き取りをしたみなさんの生の声です。

<説明会>

「業者が行った説明会の案内は、隣接する狭い範囲の住民にしかされていない。このあたりの住民全体が影響を受けるのにおかしい。ママ友たちもみなそう言っている」
「散歩がてら会う地域の人たちも、どんな計画なのか知りたがっている」

「説明会の開催が平日午後6時半からではほとんど参加できない。そんな時間にするのは説明会の既成事実を作るためかと疑ってしまう。時間も一時間ほどで質問も途中で打ち切る形で終わった。誠実に応える姿勢には思えなかった」

「市の担当者はいなかった。なぜ来なかったのだろうか」

「今後の説明会の予定はどうなっているのか。市として誠意をもった対応をしてほしい。

<高さ、景観について>

「37メートルもの高さのものが目の前にできるとは思ってもみなかった。きれいな大山、富士山、この景観が気に入って手に入れた家なのにととても悲しい」

「私たちが家を建てる時には3階建てはだめ、2階までと規制されていたはず。それなのにそびえたつほどの高さの巨大倉庫は認められるというのはおかしい」

「たとえガードレールをつけても町並みは台無し。こんなところに倉庫をつくることこそが問題」

「たとえばもう少し低層にするとか、場所を移動させるとかできないのか」

「倉庫のすぐ近くの人がとても気の毒だ」

<交通量、交通渋滞>

「スマートインターができてから、交通渋滞がひどくなっている。高校生の子供が通学するのにバスが動かずに一時間かかったことも」

「子供を保育所に送るのにも目の前の道にすぐに入れないほど」(市道12号線沿道の家)

「通勤時はセブンイレブンの裏側まで車が入って渋滞。抜け道にもなっている」

<交通安全>

「ここには小さな子供たちがたくさん住んでいる。今でも交通量が多くなって危なくなったのに、さらに大型車が近くを通ればどうなるのか。何よりもそれが心配」

<騒音、振動>

「大型車が通るたびに地震かと思うほど家が揺れている。工事期間となればもっとひどくなる、何とかしてほしい」

「これまでの工事でも騒音がひどかった。夜勤の仕事をしているが、昼間寝られず寝不足になる。これからの工事期間も思いやられる」

「倉庫は24時間操業と聞くが、夜中まで音がするのだろうか」

<日照>

「日照時間の試算は正しいのだろうか」

「ソーラーシステムが使えなくなる。その間はどうか」

<中止に>

「今から中止にすることはできないのでしょうか」

「一部のもののために、私たちが不利益をこうむるのは許せない」

「倉庫ではなく、買い物難民の人もいるのだからスーパーなら受け入れられる」

スマートインターチェンジができてから、早川城山の住環境が大きく変わってきています。団地内の交通量が急激に増え、騒音や、子どもたちの交通安全が切実な問題に。そこに巨大倉庫の建設。隣接する方々だけでなく、早川城山全体の方々に影響が及びます。

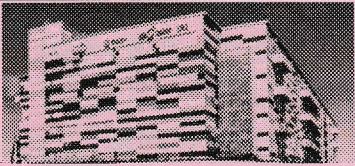
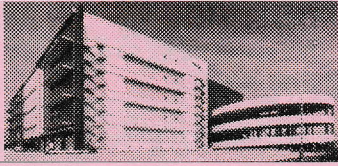
東急不動産にも社会的責任がありますが、市は22年度予算で対象事業費の30%を組合に助成しています。そもそもこの区画整理事業を計画したのは綾瀬市です。市はこれらの不満、要望にきちんと応えるべきです。

どれほどの大きさの倉庫なのか？

東急不動産のロジスティクス施設HPにあるように、この会社の倉庫はほとんどが3階か4階建て。綾瀬市は、この立地環境でなぜ5階建てをみとめたのでしょうか？

下の表。スマートインターチェンジ近くの2つの倉庫(最近の倉庫は省力化、機械化のため巨大になる傾向)と比べてみました。

今回の倉庫建設では、昨年8月にできた「MFLP東名綾瀬」の約2倍の大きさのものが計画されています。

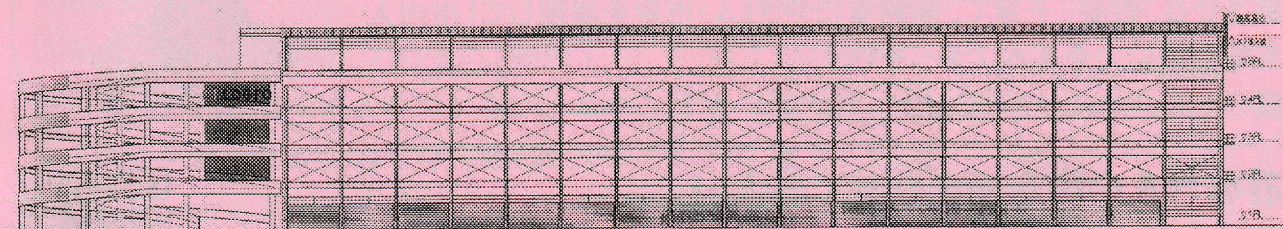
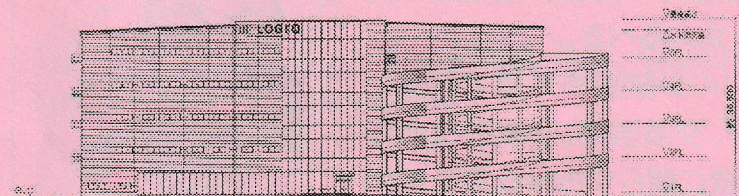
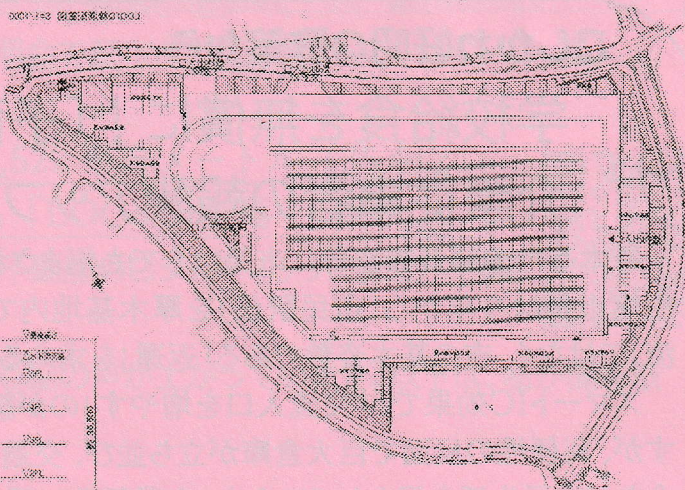
	LOGI'Q綾瀬(仮称)計画 早川地区にできる倉庫	MFLP 東名綾瀬(2022年8月竣工) 昨年できたインターすぐ近くの倉庫	GLP 綾瀬(2015年4月竣工) 郵便局の裏の倉庫
外観	計画中		
敷地面積	47,096㎡(14,271坪)	約26,730㎡(8,100坪)	31,699㎡ (9,589坪)
延べ面積	117,522㎡(35,612坪)	約61,050㎡(18,500坪)	68,642㎡ (20,764坪)
階数	地上5階建て	地上4階建て	地上5階建て

説明会配布資料から

工事期間：2023年7月1日から2025年5月末日まで

時間：原則として午前8時から午後6時半

00011103 (仮)東名高速道路



これらの資料全部を、こしかわ好昭のHPにもアップしてあります



こしかわ好昭の主張

2010年、都市計画道路「寺尾上土棚線」の北伸問題が浮上、寺尾地域の住民はこの建設に反対し、家々にこのステッカーが貼られました。今でも貼られています。その結果、神奈川県はその時点での計画を断念しました。私も地域のみなさんと行動をともにしました。

市全体の発展になるのならともかく、血税の使い道としても問題があります。そこに暮らす人々が犠牲を強いられる理不尽な開発計画には、声をあげて市に対応を求めています。



みなさんご存じのように開発計画には裏があります。地権者、進出したい企業、関係する政治家の利害もあるかもしれません。誰かはもうかっているのですから。しかし、一方でそのことで不利益を被るおおぜいの地域住民がいます。その人たちの生活は誰が守るのでしょうか。

「綾瀬市のまちづくりをどうするのか」が必要。いまあるのはスマートインターチェンジに依存した都市計画だけ。このままでは物流倉庫のまちに、交通渋滞のまちになってしまいます。これほどの戸建て住宅が集まる地域に隣接して巨大倉庫を作るとするのは極めてまれなケース。これでは綾瀬市の景観条例はお題目だけ、抜け穴だらけのものになってしまいます。

こしかわ好昭の政策から

学校給食を無償に！「子育て予算」を倍に 介護従事者の報酬アップで福祉の質を向上

厚木基地の騒音被害等に市民は今でも悩まされています。ところが古塩市長は今年から「市民駅伝」を厚木基地内で開催。「基地との交流」ではなく、市の基本姿勢である「返還」を求めるべき。

スマートIC効果で、「交流人口を増やす」のが綾瀬市の基本政策ですが、利便性の反面で巨大倉庫が立ち並び、交通渋滞、子供の交通安全など市民生活を脅かしています。企業誘致に頼らず市内産業を維持発展させる、若者、子育て、高齢者にやさしい市政を実現して「市内人口を増やす」ことを基本にすべきでは？

誰のための市政かが問われていると思います。



みなさんの声をあきかせください

電話.090-4419-5091 fax. 76-2128

email: y-koshikawa@hotmail.co.jp

担当スタッフ(長岡)LINE



「こしかわ好昭ニュース」号外 2023年3月23日発行 〒252-1137 寺尾台1-5-22